



沖縄県恩納村

議会だより

No.130
平成28年11月21日発行

うんま



第4回シリーズ各字紹介「安富祖区」

やぐらぬひや 豊年祭・組踊「矢蔵の比屋」

今後も、県内でも数少ない組踊「矢蔵の比屋」が、伝統芸能である文化遺産として後輩に継承され、安富祖区の更なる発展と、二才中の活躍が期待されます。

このような地域の伝統芸能保存継承活動が評価され、平成28年度沖縄県文化協会「団体賞」の受賞が、決定しました。

少子高齢化が進み後継者不足で、伝統芸能の継承が危惧される中、指導者と二才中の努力により、5年振りの見事な演舞で、拍手喝采で幕を閉じました。

組踊「矢蔵の比屋」の伝来は、明治40年（1907年）首里から来た、泉川氏なる人物から教わったと「村誌」に記されている。

組踊「矢蔵の比屋」の伝来は、明治40年（1907年）首里から来た、泉川氏なる人物から教わったと「村誌」に記されている。

去った11月13日、安富祖区公民館にて五穀豊穡を祈願し、豊年祭が開催されました。
雑踊14演目と組踊は、演者45人、地揺、裏方をあわせ総勢100人余りが関わる区の大イベントとして、古くから二才中（青年会・成人会）により、受け継がれてきました。

もくじ

- 決算認定 P 2
- 補正予算 P 4
- 条例否決 P 5
- 一般質問 P 6
- 議会の動き P 18
- 編集後記 P 18